



山端 美樹子
(自民公明クラブ)

物流2024年問題 宅配ボックス設置に補助を

現在は考えていないが、
必要に応じて検討

問 物流の2024年問題への市の関わりは。

答 県と連携した融資制度の保証料補給を令和6年度に予定しているほか、従業員の大型免許取得などの事業者が負担した費用の助成を行い、人材確保の取組を支援しています。全国的な課題であり、市のみではその解決を図ることは難しいですが、国等の動向を注視しながら、できる限りその対応に努めたいと考えています。

問 宅配ボックスの設置費用を補助しては。

答 現在は考えていませんが、国や県の動向、今後の社会情勢を踏まえながら、必要に応じて検討します。

問 街なかにオープン型宅配ロッカーを設置しては。

答 宅配業者から設置希望があった場合には、検討したいと考えています。

問 地域猫の不妊去勢手術費を助成しては。

答 助成は考えていませんが、県動物愛護センター等で実施している施策を市ホームページに掲載し、周知したいと考えています。

問 動物の適正飼育への啓発は。

答 餌やふん尿の管理や周辺への迷惑防止など、正しい飼育を行うよう、チラシや市ホームページで周知を図っています。

問 放課後等デイサービスの事業所数と利用児童生徒数は。

答 提供事業所は11事業所で、令和5年12月時点での利用者数は月平均152人となっており、待機児童はありません。

問 小中学校と事業所との連携は。

答 個人情報に配慮しながら、各事業所との調整や情報の共有などを行っています。



太田 正幸
(立憲農民クラブ)

地域間交通の再構築へ向けた考えは

広域交通ネットワークの
再構築に取り組む

問 本市は、自家用車がなければ生活が制限される自治体である。仕事や観光においても重要で基礎となる地域間交通は、移住、観光などの政策や各種事業へも大きく影響する。市外との移動手段の確保など再構築へ向けた考えは。

答 県や関係市町村、事業者等と連携を図り、市民が安心して移動できる広域交通ネットワークの再構築に取り組みたいと考えています。

問 市役所、中央病院、小中学校職場におけるハラスメント対策として、相談窓口を充実させる観点から、第三者相談員の配置や社外窓口を設置する考えは。

答 第三者機関の県人事委員会、労働基準監督署の総合労働相談センター、スクールカウンセラーと県教育委員会への相談が可能であり、現在のところ設置は考えていません。

問 中心市街地では、鳥類の排せつ物により、歩道を歩くことに不便を感じる。市の対応は。

答 事業者に対し中央交番周辺の電線に鳥よけの工事を依頼し、3月以降実施の予定です。

問 商店街アーケードの老朽化対策の考えは。

答 所有者である商店街関係者において安全対策を講じるべきものと考えています。

問 地震災害対策として、200か所以上ある本市の土砂災害警戒区域は解消できないか。

答 市道沿線の区域では工事等に多額の費用を要することから難しいものと考えています。

問 応急仮設住宅の設置計画は。

答 市独自の計画はありませんが、県のマニュアルを参考に8か所、約350戸分の用地を確保しています。